

大学番号：056

注3

[平成26年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

届出

作新学院大学 経営学部 経営学科

注2

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 船田教育会  
平成26年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 ソウムカチョウ 総務課長 オノヤマ 小野山 ヨシヒロ 佳広

電話番号 028-667-7111

（夜間） 028-670-3600

F A X 028-667-7110

e-mail soum@sakushin-u.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。  
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。  
例) 〇〇大学 △△学部  
(□□学部(平成◇◇年度より変更))  
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。  
例)  
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」  
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」  
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」  
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」  
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」  
※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。
- 3 大学番号の欄については、平成26年3月20日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

## 目 次

	ページ
1. 概 要 等 . . . . .	1
2. 授 業 科 目 の 概 要 . . . . .	5
3. 施 設 ・ 設 備 の 整 備 状 況 、 経 費 . . . . .	10
4. 既 設 大 学 等 の 状 況 . . . . .	11
5. 教 員 組 織 の 状 況 . . . . .	12
6. 留 意 事 項 に 対 す る 履 行 状 況 等 . . . . .	24
7. そ の 他 全 般 的 事 項 . . . . .	25

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学 校 法 人 船 田 教 育 会

## (2) 大学名

作 新 学 院 大 学

## (3) 大学の位置

〒321-3295

栃木県宇都宮市竹下町字下東原908番地の4

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(フナダ ハジメ) 船 田 元 (平成13年3月22日)		
学 長	(オオタ イタル) 太 田 周 (平成25年4月1日)		
学 部 長	(オオタ タダシ) 太 田 正 (平成25年4月1日)		
学 科 長 等	(マエハシ アキラ) 前 橋 明朗 (平成26年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。  
(例) 平成24年度に報告済の内容 → (24)  
平成26年度に報告する内容 → (26)  
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ 様式は, 平成23年度開設の4年制の学科の場合(平成26年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
経営学部 経営学科 学士(経営学)	4年	120人	—年次 —人	480人	既設の経営学部経営学科を学生募集停止し、経営学部経営学科を設置。

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	120 ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	0.74倍	
志願者数	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	107 ( — ) [ 7 ]	0 ( — ) [ 0 ]		
受験者数	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	106 ( — ) [ 7 ]	0 ( — ) [ 0 ]		
合格者数	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	105 ( — ) [ 7 ]	0 ( — ) [ 0 ]		
B 入学者数	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	89 ( — ) [ 7 ]	0 ( — ) [ 0 ]		
入学定員超過率 B/A	—		—		—		0.74			

- (注) ・ 数字は, 平成26年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで**記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成26年度		平成 年度		平成 年度		平成 年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ 5 ] 89	[ - ] —	[ - ] —	[ - ] —	[ - ] —	[ - ] —	[ - ] —	[ - ] —	
2年次	/		[ - ] —	[ - ] —	[ - ] —	[ - ] —	[ - ] —	[ - ] —	
3年次			/		[ - ] —	[ - ] —	[ - ] —	[ - ] —	
4年次	/				[ - ] —	[ - ] —	[ - ] —	[ - ] —	
計			[ - ] 89	[ - ] —	[ - ] —	[ - ] —	[ - ] —	[ - ] —	

- (注) ・ 数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成23年度 入学者	— 人	0 人	平成23年度	人	人		#VALUE! %
			平成24年度	人	人		
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
平成24年度 入学者	— 人	0 人	平成24年度	人	人		#VALUE! %
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
平成25年度 入学者	— 人	0 人	平成25年度	人	人		#VALUE! %
			平成26年度	人	人		
平成26年度 入学者	89 人	0 人	平成26年度	0 人	0 人		0 %
合 計	89 人	0 人					0 %

(注)・数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。

・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)

・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。

・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。

・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成26年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、

【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。

・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

## 2 授業科目の概要

<経営学部 経営学科>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由		教授	准教授	講師	助教	助手		
初 期 導 入	基礎ゼミナール1	1前	2			6	4		3		兼8		
	基礎ゼミナール2	1後	2			3	0	1	3		兼7 兼8 兼7		
英 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	英語A1(文法・語彙)	1前	1								兼7		
	英語A2(文法・語彙)	1後	1								兼5		
	英語A3(英文購読)	2前	1								兼7		
	英語A4(英文購読)	2後	1								兼7		
	英語B1(コミュニケーション)	1・2前	1								兼3 兼5		
	英語B2(コミュニケーション)	1・2後	1								兼3 兼5		
	英語B3(コミュニケーション)	2・3・4前		1							兼3		
	英語B4(コミュニケーション)	2・3・4後		1							兼3		
	日 本 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	日本語A1	1前	(1)								兼1	
		日本語A2	1後	(1)								兼1	
		日本語A3	2前	(1)								兼1	
		日本語A4	2後	(1)								兼1	
		日本語B1	1前	(1)								兼1	
		日本語B2	1後	(1)								兼1	
日本語B3		2前	(1)								兼1		
日本語B4		2後	(1)								兼1		
日 本 語 表 現 法	日本語表現法1	1前	2								兼3		
	日本語表現法2	1後		2							兼3		
情 報 リ テ ラ シー	コンピュータリテラシー1	1前	2			1	2				兼1		
	コンピュータリテラシー2	1後		2		3	0				兼1	職位の変更による	
健 康 と	スポーツ科学実技A1	1前	1								兼4		
	スポーツ科学実技A2	1後	1								兼4		
	スポーツ科学実技B	1・2前		1							兼1		
	スポーツ科学実技C	1・2後		1							兼3		
デ ザ イ ン	キャリアデザイン1	1後	2			1					兼1		
	キャリアデザイン2	2前	2			1							
	インターンシップA	2前・後	2			6	4		3		兼8		
	インターンシップB	3前・後		2		6	4		3		兼8		
教 養 教 育 科 目	教 養 系	哲学	1・2前		2							兼1	
		心理学	1・2前		2							兼1	
		歴史学	1・2前		2							兼1	
		文学	1・2後		2							兼1	
		デザイン論	1・2後		2							兼1	
		憲法入門	1・2後		2							兼1	
		マスコミ論	1・2後		2							兼1	
		数学	1・2前		2							兼1	
		統計学1	1・2前		2							兼1	
		統計学2	1・2後		2							兼1	
環境論	1・2後		2							兼1			
情報と社会	1・2前		2							兼1			
科学・技術論	1・2前		2							兼1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	択自	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
共通教育科目	教養教育科目	教養系	ジェンダー論	1・2後		2							兼1	担当者の退職により開講せず。 今年度中に後任決定。	
			健康・スポーツ概論1	1・2前		2							兼1		
			現代社会の諸問題A	1・2前		2							兼1		
			現代社会の諸問題B	1・2後		2							兼1		
			現代社会の諸問題C	1・2後		2		1							隔年開講により開講せず
			とちぎ学	1・2後		2							兼3		
			日本事情A	1・2前		2							兼1		
	日本事情B	1・2後		2							兼1				
	教養教育科目	言語系	初級ドイツ語1	1前		2							兼1		
			初級ドイツ語2	1後		2							兼1		
			中級ドイツ語1	2・3・4前		1							兼1		
			中級ドイツ語2	2・3・4後		1							兼1		
			初級フランス語1	1前		2							兼1		
			初級フランス語2	1後		2							兼1		
			中級フランス語1	2・3・4前		1							兼1		
			中級フランス語2	2・3・4後		1							兼1		
			初級中国語1	1前		2							兼1 兼2		
			初級中国語2	1後		2							兼1 兼2		
			中級中国語1	2・3・4前		1							兼1		
			中級中国語2	2・3・4後		1							兼1		
			初級韓国語1	1前		2							兼1		
			初級韓国語2	1後		2							兼1		
			中級韓国語1	2・3・4前		1							兼1		
			中級韓国語2	2・3・4後		1							兼1		
			英語C1	2・3・4前		1							兼1		
			英語C2	2・3・4後		1							兼1		
			英語D1	2・3・4前		1							兼1		
			英語D2	2・3・4後		1							兼1		
	英語E1	2・3・4前		1							兼1				
	英語E2	2・3・4後		1							兼1				
	教養教育科目	自主科目	自主科目A	1・2・3・4		2		1							
			自主科目B	1・2・3・4		2		1							
			自主科目C	1・2・3・4		2		1							
海外研修		海外研修A	1・2・3・4後		2								兼4	隔年開講により開講せず	
		海外研修B	1・2・3・4後		2								兼4 兼1		
		海外研修C	1・2・3・4後		2		1						兼1 0		
		海外研修D	1・2・3・4後		2								兼1		
専門教育科目	学部共通科目	経営学総論A	1前	2			1								
		経営学総論B	1後	2			1								
		経済学総論	1後	2				1							
		会計学総論	1前	2				1			1				
		フィールドワークA	1前	2			6 4	4			3		兼8 兼7		
		経営管理論A	2前	2									兼1		
		現代企業論A	2前	2			1								
		公共経営論A	2前	2			1								
		経営実践講座	2後	2									兼1		
		フィールドワークB	2前	2			4	2			3		兼3		
		経営戦略論	2後	2			1						兼1		
		マーケティング論A	2前	2			1						兼1		
		ヒューマンリソース・マネジメント	2前	2									兼1		
		ベンチャー起業論	2後	2			1								
		グローバル経営論	2後	2			1								
		財務諸表論A	2前	2							1				
		金融論	2前	2				1							
		経営情報論A	2前	2			1								
		情報の収集と活用	2後	2									兼1		
		地域経営論	2前	2									兼1		
まちづくり論	2前	2									兼1				
生涯スポーツ論	1後	2									兼1				
栃木県の企業	2後	2			1						兼1				
アグリビジネス論	2後	2									兼1				



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	択自	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学 科 共 通 科 目	プロジェクトマネジメント基礎	2前		2			1					兼1	
	企業と法A	2前		2								兼1	
	企業と法B	2後		2								兼1	
	統計処理入門	2後		2			1					兼1	
	ビジネスイングリッシュA	2前		2			1						
	ビジネスイングリッシュB	2後		2			1						
	職業指導A	2前		2			1						
	職業指導B	2後		2			1						
	企業経営史A	2前		2			1						
	経営組織論A	2後		2			1						
	企業の社会的責任論(CSR)	2前		2								兼1	
	企業倫理	2後		2								兼1	
	コーポレート・ガバナンス	2後		2			1						
	コーポレート・ファイナンス	2前		2				1					
財務諸表論B	2後		2						1				
管理会計論A	2前		2				1						
経営分析論	2後		2							1			
経営情報論B	2後		2				1						
情報政策論	2前		2								兼1		
情報社会の法制度	2後		2								兼1		
公共経営論B	2後		2			1							
学 科 共 通 科 目	公共政策論	2前		2								兼1	
	市民参加論	2後		2								兼1	
	観光概論	2前		2								兼1	
	環境マネジメント	2前		2								兼1	
	ニューツーリズムマネジメント	2後		2								兼1	
分 野 別 科 目	企業経営史B	2後		2			1					兼1	
	経営管理論B	2後		2									
	現代企業論B	2後		2			1						
	経営組織論B	2後		2			1						
	生産システム論	2前		2			1						
	ヒューマンリソース・マネジメント	2後		2								兼1	
	マーケティング論B	2後		2			1					兼1	
	流通論	3前		2			1						
	技術経営論(MOT)	3前		2								兼1	
	サプライチェーン・マネジメント	3前		2			1						
	インターネットビジネス論	3前		2			1						
	管理会計論B	2後		2				1					
	戦略管理会計論	3前		2				1					
	税務会計論A	2前		2								兼1	
税務会計論B	2後		2								兼1		
税法	3前		2								兼1		
監査論	2後		2							1			
原価計算論	3後		2										
簿記論	3前		2										
会計情報システム論	2後		2				1						
会計実務演習	3前		2								兼1		
情報システム基礎	2前		2				1						
データベース概論	2後		2				1						
情報ネットワーク論	2後		2				1						
オペレーティングシステム概論	3前		2								兼1		
情報システム設計	3後		2								兼1		
経営工学	3前		2				1						
マルチメディアと情報社会	3後		2				1						
プログラミング演習1	2前		2								兼1		
プログラミング演習2	2後		2				1						
プログラミング演習3	3前		2				1						
コ ミ ュ ニ テ ィ マ ネ ジ メ ン ト	公共ガバナンス論	2前		2			2						
	財政マネジメント論	2前		2								兼1	
	公民パートナーシップ論	2後		2			1						
	地域福祉論	3後		2			1						
	公益事業論	3前		2						1			
	栃木地域政策研究	3前		2								兼1	
コミュニティビジネス論	2前		2			1							
マ コ ミ ュ ニ テ ィ マ ネ ジ メ ン ト	NPOマネジメント論	2後		2								兼1	
	ホスピタリティマネジメント	2前		2								兼1	
	国際観光産業論	2後		2								兼1	
	観光マーケティング論	3前		2								兼1	
	地域フィールドワーク	2後		2								兼1	
研 究 ゼ ミ ナ ー ル	研究ゼミナール1	2前	2				6	4		3			
	研究ゼミナール2	2後	2				6	4		3			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由		教授	准教授	講師	助教	助手	
目	ゼミナール	研究ゼミナール3	3前	2			6	4		3		
		研究ゼミナール4	3後	2			6	4		3		
		研究ゼミナール5	4前	2			6	4		3		
		研究ゼミナール6	4後	2			6	4		3		
合計(179科目)		—	#REF!	#REF!		6	4		3		兼52	

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成25年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
38	141	0	179	38	141	0	179	
				[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[ ]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	文学	2	1～2	一般	選択	担当者の都合。次年度開講。
2	ジェンダー論	2	1～2	一般	選択	担当者退職。後任未定
3	現代社会の諸問題C	2	1～2	一般	選択	ABC間での隔年開講
4	海外研修A	2	1～4	一般	選択	ABCD間での隔年開講
5	海外研修D	2	1～4	一般	選択	

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目                      なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>「大学の所見」                  教員の担当科目数や実施準備等の都合から、非開講となった科目がある。また、隔年開講の開講予定により、一時的に非開講の科目もある。適切な履修年次での開講に努め、学生の履修意欲を損なうことの無いよう注意したい。隔年開講については、その周期を狭めてより多くの履修機会を設けるよう努力する。</p> <p>「学生への周知方法」                  新入生オリエンテーション時の履修指導の時間に教務係職員及び教務委員の教員により開講できない理由や次年度の処置を説明し、次年度の履修に支障が生じないように配慮した。</p>
---

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = 0.02$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	作新学院大学女子短期大学部と共有		
	校舎敷地	— m <sup>2</sup>	32,269m <sup>2</sup>	4,007m <sup>2</sup>	36,276m <sup>2</sup>			
	運動場用地	— m <sup>2</sup>	30,409m <sup>2</sup>	3,698m <sup>2</sup>	34,107m <sup>2</sup>			
	小 計	— m <sup>2</sup>	62,678m <sup>2</sup>	7,705m <sup>2</sup>	70,383m <sup>2</sup>			
	そ の 他	— m <sup>2</sup>	30,486m <sup>2</sup>	3,787m <sup>2</sup>	34,273m <sup>2</sup>			
	合 計	— m <sup>2</sup>	93,164m <sup>2</sup>	11,492m <sup>2</sup>	104,656m <sup>2</sup>			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	作新学院大学女子短期大学部と共有			
	4,767m <sup>2</sup> ( 4,767m <sup>2</sup> )	16,417m <sup>2</sup> ( 16,417m <sup>2</sup> )	5,471m <sup>2</sup> ( 5,471m <sup>2</sup> )	26,655m <sup>2</sup> ( 26,655m <sup>2</sup> )				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	(語学学習施設は作新学院大学女子短期大学部と共有)		
	42室	31室	2室	1室 (補助職員 3 人)	1室 (補助職員 1 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	経営学部 スポーツマネジメント学科			8 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	図書館は作新学院大学女子短期大学部と共有 電子ジャーナルは作新学院大学女子短期大学部と共有
		〔うち外国書〕	〔うち外国書〕	電子ジャーナル				
	冊	種	〔うち外国書〕	点	点	点		
	経営学部	4,000 [400] (1,000 [100])	215 [ 20 ] (215 [ 20 ])	5,265 [5,200] (5,265 [5,200])	40 ( 10 )	6,830 ( 168 )	0 ( 0 )	
計	4,000 [400] (1,000 [100])	215 [ 20 ] (215 [ 20 ])	5,265 [5,200] (5,265 [5,200])	40 ( 10 )	6,830 ( 168 )	0 ( 0 )		
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	4,064m <sup>2</sup>		321席		32万冊			
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	1,777m <sup>2</sup>		野 球 場 1 面		テ ニ ス コ ー ト 3 面			
			陸上競技場兼サッカー場1面		—			
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等	300千円	300千円	図書購入費	9,500千円	9,500千円	
	共 同 研 究 費 等	1,000千円	1,000千円	設備購入費	10,500千円	10,500千円	10,500千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,240千円	940千円	940千円	940千円	— 千	— 千	
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資金運用収入、雑収入等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成26年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(26)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	作新学院大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
大学院経営学研究科 博士後期課程	3	3	— 人	9	博士 (経営学)	0.55	平成7年度	栃木県宇都宮市 竹下町字下東原 908番地の4	
博士前期課程	2	20	—	40	修士 (経営学)	1.02	平成5年度	同上	
大学院心理学研究科 臨床心理学専攻 (修士課程)	2	15	—	30	修士 (臨床心理学)	1.03	平成18年度	同上	
経営学部経営学科	4	—	—	—	学士 (経営学)	—	平成元年度	同上	平成22年度より 学生募集停止
経営学部経営学科	4	—	—	—	学士 (経営学)	—	平成22年度	同上	平成26年度より 学生募集停止
<b>経営学部</b>									
<b>経営学科</b>	<b>4</b>	<b>120</b>	<b>—</b>	<b>480</b>	<b>学士 (経営学)</b>	<b>0.74</b>	<b>平成26年度</b>	<b>同上</b>	
<b>スポーツマネジメント学科</b>	<b>4</b>	<b>60</b>	<b>—</b>	<b>240</b>	<b>学士 (経営学)</b>	<b>1.18</b>	<b>平成26年度</b>	<b>同上</b>	
総合政策学部 総合政策学科	4	—	—	—	学士 (総合政策学)	—	平成17年度	同上	平成22年度より 学生募集停止
人間文化学部 人間文化学科	4	120	—	480	学士 (人間文化学)	0.64	平成14年度	同上	
大学の名称	作新学院大学女子短期大学部								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
幼児教育科	2	130	— 人	260	短期大学士 (幼児教育)	1.07	昭和42年度	栃木県宇都宮市 竹下町字下東原 908番地の4	

(注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成26年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。(ただし, 専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。)

- ・ 「平均定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を, 学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には, 専攻課程)単位で記入してください。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員と収容定員は「—」とし, 「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。
- ・ 大学, 短期大学においては学科単位(短期大学において専攻課程を置くときは専攻課程単位), 大学院においては専攻単位で記入してください。

5 教員組織の状況

<経営学部 経営学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画				変更状況				備考
専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任予定年月日 担当授業科目の名称	専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任予定年月日 担当授業科目の名称	
専	教授 (副学長)	ヤハギ ツネオ 矢作 恒雄 (72)	経営戦略論 (平成26年4月)	専	教授 (副学長)	ヤハギ ツネオ 矢作 恒雄 (72)	経営戦略論 (平成26年4月)	
専	教授	ハンダテ タツオ 橋立 達夫 (67) (高)	まちづくり論 アグリビジネス論 プロジェクトマネジメント基礎 市民参加論 観光概論 NPOマネジメント論 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 フィールドワークB インターンシップA インターンシップB 研究ゼミナール1 研究ゼミナール2 研究ゼミナール3 研究ゼミナール4 研究ゼミナール5 研究ゼミナール6 (平成26年4月)	専	教授	ハンダテ タツオ 橋立 達夫 (67) (高)	まちづくり論 アグリビジネス論 プロジェクトマネジメント基礎 市民参加論 観光概論 NPOマネジメント論 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 フィールドワークB インターンシップA インターンシップB 研究ゼミナール1 研究ゼミナール2 研究ゼミナール3 研究ゼミナール4 研究ゼミナール5 研究ゼミナール6 (平成26年4月)	基礎ゼミナール1 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし 基礎ゼミナール2 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし
専	教授	シノハラ カズトシ 篠原 一壽 (65) (高)	基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 フィールドワークA (平成26年4月)	専	教授	シノハラ カズトシ 篠原 一壽 (65) (高)	基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 フィールドワークA (平成26年4月)	基礎ゼミナール1 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし 基礎ゼミナール2 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし フィールドワークA 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし
専	教授	タカハシ ハジメ 高橋 元 (65) (高)	基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 フィールドワークA (平成26年4月)	専	教授	タカハシ ハジメ 高橋 元 (65) (高)	基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 フィールドワークA (平成26年4月)	基礎ゼミナール1 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし 基礎ゼミナール2 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし フィールドワークA 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし
専	教授	アオヤマ ヒデオ 青山 秀雄 (63) (高)	ヒューマンリソースマネジメントA ヒューマンリソースマネジメントB 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 インターンシップA フィールドワークA 研究ゼミナール1 研究ゼミナール2 (平成26年4月)	専	教授	アオヤマ ヒデオ 青山 秀雄 (63) (高)	ヒューマンリソースマネジメントA ヒューマンリソースマネジメントB 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 インターンシップA フィールドワークA 研究ゼミナール1 研究ゼミナール2 (平成26年4月)	基礎ゼミナール1 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし 基礎ゼミナール2 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし フィールドワークA 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし
専	教授	ヒダカ サダアキ 日高 定昭 (63) (高)	経営管理論A 経営管理論B 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 インターンシップA フィールドワークA 研究ゼミナール1 研究ゼミナール2 (平成26年4月)	専	教授	ヒダカ サダアキ 日高 定昭 (63) (高)	経営管理論A 経営管理論B 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 インターンシップA フィールドワークA 研究ゼミナール1 研究ゼミナール2 (平成26年4月)	基礎ゼミナール1 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし 基礎ゼミナール2 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし フィールドワークA 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし 海外研修C 担当者の変更による追加

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任予定年月日	担当授業科目の名称	専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任予定年月日	担当授業科目の名称	
専	教授 (学部長)	オオタ タダン 太田 正 (62) (高)	<平成26年4月>	キャリアデザイン1 地域経営論 財政マネジメント論 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 インターンシップA インターンシップB フィールドワークA 研究ゼミナール1 研究ゼミナール2 研究ゼミナール3 研究ゼミナール4	専	教授 (学部長)	オオタ タダン 太田 正 (62) (高)	<平成26年4月>	キャリアデザイン1 地域経営論 財政マネジメント論 <del>基礎ゼミナール1</del> <del>基礎ゼミナール2</del> インターンシップA インターンシップB <del>フィールドワークA</del> 研究ゼミナール1 研究ゼミナール2 研究ゼミナール3 研究ゼミナール4	今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし
専	教授	カスガ マサオ 春日 正男 (67)	<平成26年4月>	経営実践講座 栃木県の企業 技術経営論(MOT) 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 インターンシップA インターンシップB フィールドワークA フィールドワークB 研究ゼミナール1 研究ゼミナール2 研究ゼミナール3 研究ゼミナール4 研究ゼミナール5 研究ゼミナール6	専	教授	カスガ マサオ 春日 正男 (67)	<平成26年4月>	経営実践講座 栃木県の企業 技術経営論(MOT) <del>基礎ゼミナール1</del> <del>基礎ゼミナール2</del> インターンシップA インターンシップB <del>フィールドワークA</del> フィールドワークB 研究ゼミナール1 研究ゼミナール2 研究ゼミナール3 研究ゼミナール4 研究ゼミナール5 研究ゼミナール6	今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし
専	教授	ホウキ リョウイチ 法貴 良一 (61)	<平成26年4月>	公共経営論A 職業指導A 職業指導B 公共ガバナンス論 現代社会の諸問題C 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 キャリアデザイン1 インターンシップA インターンシップB フィールドワークA 研究ゼミナール1 研究ゼミナール2 研究ゼミナール3 研究ゼミナール4 研究ゼミナール5 研究ゼミナール6	専	教授	ホウキ リョウイチ 法貴 良一 (61)	<平成26年4月>	公共経営論A 職業指導A 職業指導B 公共ガバナンス論 <del>現代社会の諸問題C</del> <del>基礎ゼミナール1</del> <del>基礎ゼミナール2</del> <del>キャリアデザイン1</del> インターンシップA インターンシップB <del>フィールドワークA</del> 研究ゼミナール1 研究ゼミナール2 研究ゼミナール3 研究ゼミナール4 研究ゼミナール5 研究ゼミナール6	隔年開講のため開講せず 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし
専	教授	ナスノ キミト 那須野 公人 (60)	<平成26年4月>	経営学総論A 経営学総論B グローバル経営論 企業経営史A 企業経営史B 生産システム論 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2	専	教授	ナスノ キミト 那須野 公人 (60)	<平成26年4月>	経営学総論A 経営学総論B グローバル経営論 企業経営史A 企業経営史B 生産システム論 <del>基礎ゼミナール1</del> <del>基礎ゼミナール2</del>	今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任予定年月日	担当授業科目の名称	専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任予定年月日	担当授業科目の名称	
				インターンシップA インターンシップB フィールドワークA 研究ゼミナール1 研究ゼミナール2 研究ゼミナール3 研究ゼミナール4 研究ゼミナール5 研究ゼミナール6					インターンシップA インターンシップB <del>フィールドワークA</del> 研究ゼミナール1 研究ゼミナール2 研究ゼミナール3 研究ゼミナール4 研究ゼミナール5 研究ゼミナール6	今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし
専	教授	ヤマグチ アツエ 山口 厚江 (56)	(平成26年4月)	経営戦略論 企業の社会的責任論(CSR) 企業倫理 環境マネジメント 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 インターンシップA インターンシップB フィールドワークA 研究ゼミナール1 研究ゼミナール2 研究ゼミナール3 研究ゼミナール4 研究ゼミナール5 研究ゼミナール6	専	教授	ヤマグチ アツエ 山口 厚江 (56)	(平成26年4月)	経営戦略論 企業の社会的責任論(CSR) 企業倫理 環境マネジメント <del>基礎ゼミナール1</del> <del>基礎ゼミナール2</del> インターンシップA インターンシップB <del>フィールドワークA</del> 研究ゼミナール1 研究ゼミナール2 研究ゼミナール3 研究ゼミナール4 研究ゼミナール5 研究ゼミナール6	今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし
専	教授	マエハシ アキラ 前橋 明朗 (53)	(平成26年4月)	キャリアデザイン2 現代企業論A 現代企業論B ベンチャー起業論 プロジェクトマネジメント基礎 企業と法A 企業と法B 経営組織論A 経営組織論B コーポレート・ガバナンス コミュニティビジネス論 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 インターンシップA インターンシップB フィールドワークA 研究ゼミナール1 研究ゼミナール2 研究ゼミナール3 研究ゼミナール4 研究ゼミナール5 研究ゼミナール6	専	教授	マエハシ アキラ 前橋 明朗 (53)	(平成26年4月)	キャリアデザイン2 現代企業論A 現代企業論B ベンチャー起業論 プロジェクトマネジメント基礎 企業と法A 企業と法B 経営組織論A 経営組織論B コーポレート・ガバナンス コミュニティビジネス論 <del>基礎ゼミナール1</del> <del>基礎ゼミナール2</del> インターンシップA インターンシップB フィールドワークA 研究ゼミナール1 研究ゼミナール2 研究ゼミナール3 研究ゼミナール4 研究ゼミナール5 研究ゼミナール6	今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし
専	教授	アラキ ヒロシ 荒木 宏 (51)	(平成26年4月)	ビジネスイングリッシュB 公共ガバナンス論 公民パートナーシップ論 地域福祉論 公共経営論B 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 インターンシップA インターンシップB フィールドワークA 研究ゼミナール1 研究ゼミナール2 研究ゼミナール3	専	教授	アラキ ヒロシ 荒木 宏 (51)	(平成26年4月)	ビジネスイングリッシュB 公共ガバナンス論 公民パートナーシップ論 地域福祉論 公共経営論B 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 インターンシップA インターンシップB フィールドワークA 研究ゼミナール1 研究ゼミナール2 研究ゼミナール3	



設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任予定年月日	担当授業科目の名称	専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任予定年月日	担当授業科目の名称	
				研究ゼミナール4 研究ゼミナール5 研究ゼミナール6					研究ゼミナール4 研究ゼミナール5 研究ゼミナール6	
専	教授	オギワラ アキノブ 荻原 明信 (50)	〈平成26年4月〉	コンピュータリテラシー1 コンピュータリテラシー2 データベース概論 経営工学 プログラミング演習2 プログラミング演習3 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 インターンシップA インターンシップB フィールドワークA 研究ゼミナール1 研究ゼミナール2 研究ゼミナール3 研究ゼミナール4 研究ゼミナール5 研究ゼミナール6	専	教授	オギワラ アキノブ 荻原 明信 (50)	〈平成26年4月〉	コンピュータリテラシー1 コンピュータリテラシー2 データベース概論 経営工学 プログラミング演習2 プログラミング演習3 <del>基礎ゼミナール1</del> <del>基礎ゼミナール2</del> インターンシップA インターンシップB <del>フィールドワークA</del> 研究ゼミナール1 研究ゼミナール2 研究ゼミナール3 研究ゼミナール4 研究ゼミナール5 研究ゼミナール6	今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし
専	教授	ヒグチ トオル 樋口 徹 (44)	〈平成26年4月〉	コンピュータリテラシー1 コンピュータリテラシー2 マーケティング論A マーケティング論B 経営情報論A 統計処理入門 ビジネスイングリッシュA 流通論 サプライチェーン・マネジメント インターネットビジネス論 海外研修C 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 インターンシップA インターンシップB フィールドワークA フィールドワークB 研究ゼミナール1 研究ゼミナール2 研究ゼミナール3 研究ゼミナール4 研究ゼミナール5 研究ゼミナール6	専	教授	ヒグチ トオル 樋口 徹 (44)	〈平成26年4月〉	コンピュータリテラシー1 コンピュータリテラシー2 マーケティング論A マーケティング論B 経営情報論A 統計処理入門 ビジネスイングリッシュA 流通論 サプライチェーン・マネジメント インターネットビジネス論 <del>海外研修C</del> 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 インターンシップA インターンシップB フィールドワークA フィールドワークB 研究ゼミナール1 研究ゼミナール2 研究ゼミナール3 研究ゼミナール4 研究ゼミナール5 研究ゼミナール6	今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任予定年月日	担当授業科目の名称	専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任予定年月日	担当授業科目の名称	
専	教授	ナカジマ ヒロユキ 中島 洋行 (36)	<平成26年4月>	会計学総論 管理会計論A 管理会計論B 戦略管理会計論 簿記論 会計情報システム論 自主科目A 自主科目B 自主科目C 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 インターンシップA インターンシップB フィールドワークA フィールドワークB 研究ゼミナール1 研究ゼミナール2 研究ゼミナール3 研究ゼミナール4 研究ゼミナール5 研究ゼミナール6	専	教授	ナカジマ ヒロユキ 中島 洋行 (36)	<平成26年4月>	会計学総論 管理会計論A 管理会計論B 戦略管理会計論 簿記論 会計情報システム論 自主科目A 自主科目B 自主科目C 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 インターンシップA インターンシップB フィールドワークA フィールドワークB 研究ゼミナール1 研究ゼミナール2 研究ゼミナール3 研究ゼミナール4 研究ゼミナール5 研究ゼミナール6	
専	准教授	タカハシ ヒデユキ 高橋 秀行 (55)	<平成26年4月>	コンピュータリテラシー1 コンピュータリテラシー2 経営情報論B 情報システム基礎 情報ネットワーク論 マルチメディアと情報社会 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 インターンシップA インターンシップB フィールドワークA フィールドワークB 研究ゼミナール1 研究ゼミナール2 研究ゼミナール3 研究ゼミナール4 研究ゼミナール5 研究ゼミナール6	専	准教授 教授	タカハシ ヒデユキ 高橋 秀行 (55)	<平成26年4月>	コンピュータリテラシー1 コンピュータリテラシー2 経営情報論B 情報システム基礎 情報ネットワーク論 マルチメディアと情報社会 <del>基礎ゼミナール1</del> <del>基礎ゼミナール2</del> インターンシップA インターンシップB <del>フィールドワークA</del> フィールドワークB 研究ゼミナール1 研究ゼミナール2 研究ゼミナール3 研究ゼミナール4 研究ゼミナール5 研究ゼミナール6	今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし
専	准教授	アマオ ヒサオ 天尾 久夫 (48)	<平成26年4月>	経済学総論 金融論 コーポレート・ファイナンス 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 インターンシップA インターンシップB フィールドワークA 研究ゼミナール1 研究ゼミナール2 研究ゼミナール3 研究ゼミナール4 研究ゼミナール5 研究ゼミナール6	専	准教授 教授	アマオ ヒサオ 天尾 久夫 (48)	<平成26年4月>	経済学総論 金融論 コーポレート・ファイナンス <del>基礎ゼミナール1</del> <del>基礎ゼミナール2</del> インターンシップA インターンシップB <del>フィールドワークA</del> 研究ゼミナール1 研究ゼミナール2 研究ゼミナール3 研究ゼミナール4 研究ゼミナール5 研究ゼミナール6	今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任予定年月日	担当授業科目の名称	専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任予定年月日	担当授業科目の名称	
専	准教授	タケイ コウスケ 武井 孝介 (40)	<平成27年4月>	公益事業論 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 インターンシップA インターンシップB フィールドワークA フィールドワークB 研究ゼミナール1 研究ゼミナール2 研究ゼミナール3 研究ゼミナール4 研究ゼミナール5 研究ゼミナール6	専 兼任	准教授 講師	タケイ コウスケ 武井 孝介 (40)	<平成27年4月>	公益事業論 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 インターンシップA インターンシップB フィールドワークA フィールドワークB 研究ゼミナール1 研究ゼミナール2 研究ゼミナール3 研究ゼミナール4 研究ゼミナール5 研究ゼミナール6	※平成27年度4月着任予定のため、 平成26年度は兼任講師として科目を担当 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし
専	講師	ホソダ マサヒロ 細田 雅洋 (28)	<平成26年4月>	会計学総論 財務諸表論A 財務諸表論B 経営分析論 原価計算論 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 インターンシップA インターンシップB フィールドワークA フィールドワークB 研究ゼミナール1 研究ゼミナール2 研究ゼミナール3 研究ゼミナール4 研究ゼミナール5 研究ゼミナール6	専	講師	ホソダ マサヒロ 細田 雅洋 (28)	<平成26年4月>	会計学総論 財務諸表論A 財務諸表論B 経営分析論 原価計算論 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 インターンシップA インターンシップB フィールドワークA フィールドワークB 研究ゼミナール1 研究ゼミナール2 研究ゼミナール3 研究ゼミナール4 研究ゼミナール5 研究ゼミナール6	
専	助教	キシモト ナオコ 岸本 直子 (37)	<平成28年4月>	マーケティング論A マーケティング論B 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 インターンシップA インターンシップB フィールドワークA 研究ゼミナール1 研究ゼミナール2 研究ゼミナール3 研究ゼミナール4 研究ゼミナール5 研究ゼミナール6	専	助教	キシモト ナオコ 岸本 直子 (37)	<平成28年4月>	マーケティング論A マーケティング論B 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 インターンシップA インターンシップB フィールドワークA 研究ゼミナール1 研究ゼミナール2 研究ゼミナール3 研究ゼミナール4 研究ゼミナール5 研究ゼミナール6	
兼任	教授	アブラカワ ヒロシ 油川 洋 (69)	<平成26年4月>	ニューツーリズムマネジメント 国際観光産業論 観光マーケティング論 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 インターンシップA インターンシップB フィールドワークA フィールドワークB	兼任	教授	アブラカワ ヒロシ 油川 洋 (69)	<平成26年4月>	ニューツーリズムマネジメント 国際観光産業論 観光マーケティング論 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 インターンシップA インターンシップB フィールドワークA フィールドワークB	今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任予定年月日	担当授業科目の名称	専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任予定年月日	担当授業科目の名称	
兼任	教授	ナカオ ヒサシ 中尾 久 (69)	〈平成26年4月〉	栃木県の企業 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 インターンシップA インターンシップB フィールドワークA	兼任	教授	ナカオ ヒサシ 中尾 久 (69)	〈平成26年4月〉	栃木県の企業 <del>基礎ゼミナール1</del> <del>基礎ゼミナール2</del> インターンシップA インターンシップB <del>フィールドワークA</del>	今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし
兼任	教授	フクダ マサシ 福田 将史 (55)	〈平成26年4月〉	スポーツ科学実技A1 スポーツ科学実技A2 スポーツ科学実技C 健康・スポーツ概論1 生涯スポーツ論 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 インターンシップA インターンシップB フィールドワークA	兼任	教授	フクダ マサシ 福田 将史 (55)	〈平成26年4月〉	スポーツ科学実技A1 スポーツ科学実技A2 <del>スポーツ科学実技C</del> 健康・スポーツ概論1 生涯スポーツ論 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 インターンシップA インターンシップB フィールドワークA	今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし
兼任	教授	チョウ ヨンギル 趙 鏞吉 (54)	〈平成26年4月〉	情報と社会 情報政策論 公共政策論 栃木地域政策研究 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 インターンシップA インターンシップB フィールドワークA フィールドワークB	兼任	教授	チョウ ヨンギル 趙 鏞吉 (54)	〈平成26年4月〉	情報と社会 情報政策論 公共政策論 栃木地域政策研究 <del>基礎ゼミナール1</del> <del>基礎ゼミナール2</del> インターンシップA インターンシップB フィールドワークA フィールドワークB	今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし
兼任	教授	キムラ カツヒコ 木村 克彦 (54)	〈平成26年4月〉	英語A1(文法・語彙) 英語A2(文法・語彙) 英語A3(英文購読) 英語A4(英文購読) 海外研修A 海外研修B	兼任	教授	キムラ カツヒコ 木村 克彦 (54)	〈平成26年4月〉	英語A1(文法・語彙) 英語A2(文法・語彙) 英語A3(英文購読) 英語A4(英文購読) <del>海外研修A</del> <del>海外研修B</del>	隔年開講により非開講 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし
兼任	教授	カトウ ノリアキ 加藤 憲明 (60)	〈平成26年4月〉	英語A1(文法・語彙) 英語A2(文法・語彙) 英語A3(英文購読) 英語A4(英文購読) 海外研修A 海外研修B	兼任	教授	カトウ ノリアキ 加藤 憲明 (60)	〈平成26年4月〉	英語A1(文法・語彙) 英語A2(文法・語彙) 英語A3(英文購読) 英語A4(英文購読) <del>海外研修A</del> <del>海外研修B</del>	隔年開講により非開講 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし
兼任	教授	タカハタ テツオ 高畑 哲男 (60)	〈平成26年4月〉	英語A1(文法・語彙) 英語A2(文法・語彙) 英語A3(英文購読) 英語A4(英文購読) 英語E1 英語E2 海外研修A 海外研修B	兼任	教授	タカハタ テツオ 高畑 哲男 (60)	〈平成26年4月〉	英語A1(文法・語彙) 英語A2(文法・語彙) 英語A3(英文購読) 英語A4(英文購読) 英語E1 英語E2 <del>海外研修A</del> <del>海外研修B</del>	隔年開講により非開講 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし
兼任	教授	ハラダ アキコ 原田 明子 (53)	〈平成26年4月〉	英語A1(文法・語彙) 英語A2(文法・語彙) 英語A3(英文購読) 英語A4(英文購読) 海外研修A 海外研修B	兼任	教授	ハラダ アキコ 原田 明子 (53)	〈平成26年4月〉	英語A1(文法・語彙) 英語A2(文法・語彙) 英語A3(英文購読) 英語A4(英文購読) <del>海外研修A</del> 海外研修B	隔年開講により非開講
兼任	教授	アラキ ナオヒデ 荒木 直秀 (53)	〈平成26年4月〉	コンピュータリテラシー1 コンピュータリテラシー2 情報の収集と活用 プログラミング演習1	兼任	教授	アラキ ナオヒデ 荒木 直秀 (53)	〈平成26年4月〉	コンピュータリテラシー1 コンピュータリテラシー2 情報の収集と活用 プログラミング演習1	配当年次の変更により開講

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任予定年月日	担当授業科目の名称	専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任予定年月日	担当授業科目の名称	
兼任	教授	タナカ ケンタロウ 田中 見太郎 (63)  (高)	<平成26年4月>	哲学 現代社会の諸問題A 日本事情A	兼任	教授	タナカ ケンタロウ 田中 見太郎 (63) (高)	<平成26年4月>	哲学 現代社会の諸問題A 日本事情A 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2	担当科目の追加による変更 担当科目の追加による変更
兼任	教授	ニシタニ ケンジ 西谷 健次 (49)	<平成26年4月>	心理学	兼任	教授	ニシタニ ケンジ 西谷 健次 (49)	<平成26年4月>	心理学	
兼任	教授	コバヤシ チエコ 小林 千枝子 (59)	<平成26年4月>	とちぎ学	兼任	教授	コバヤシ チエコ 小林 千枝子 (59)	<平成26年4月>	とちぎ学	
兼任	教授	タマキ カナメ 玉城 要 (47)	<平成26年4月>	とちぎ学 中級中国語1 中級中国語2	兼任	教授	タマキ カナメ 玉城 要 (47)	<平成26年4月>	とちぎ学 中級中国語1 中級中国語2	
兼任	教授	ニシムラ マサミ 西村 正身 (63)  (高)	<平成26年4月>	初級ドイツ語1 初級ドイツ語2 中級ドイツ語1 中級ドイツ語2	兼任	教授	ニシムラ マサミ 西村 正身 (63)  (高)	<平成26年4月>	初級ドイツ語1 初級ドイツ語2 中級ドイツ語1 中級ドイツ語2	
兼任	教授	フジモト カズオ 藤本 一男 (59)	<平成26年4月>	海外研修D	兼任	教授	フジモト カズオ 藤本 一男 (59)	<平成26年4月>	海外研修D	隔年開講により非開講
兼任	准教授	カサハラ アキラ 笠原 彰 (45)	<平成26年4月>	スポーツ科学実技A1 スポーツ科学実技A2 スポーツ科学実技B 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 インターンシップA インターンシップB フィールドワークA	兼任	准教授	カサハラ アキラ 笠原 彰 (45)	<平成26年4月>	スポーツ科学実技A1 スポーツ科学実技A2 スポーツ科学実技B 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 インターンシップA インターンシップB フィールドワークA	
兼任	准教授	コヤマ サナエ 小山 さなえ (45)	<平成26年4月>	スポーツ科学実技A1 スポーツ科学実技A2 スポーツ科学実技C 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 インターンシップA インターンシップB フィールドワークA フィールドワークB	兼任	准教授	コヤマ サナエ 小山 さなえ (45)	<平成26年4月>	スポーツ科学実技A1 スポーツ科学実技A2 スポーツ科学実技C 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 インターンシップA インターンシップB フィールドワークA フィールドワークB	今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし
兼任	准教授	タカヤナギ ヒデシ 高柳 秀史 (49)	<平成26年4月>	数学 統計学1 統計学2 日本事情B 統計処理入門	兼任	准教授	タカヤナギ ヒデシ 高柳 秀史 (49)	<平成26年4月>	数学 統計学1 統計学2 日本事情B 統計処理入門 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2	担当科目の追加による変更 担当科目の追加による変更
兼任	講師	セキネ マサトシ 関根 正敏 (31)	<平成27年4月>	基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 インターンシップA インターンシップB フィールドワークA フィールドワークB	兼任	講師	セキネ マサトシ 関根 正敏 (31)	<平成27年4月> <平成26年4月>	基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 インターンシップA インターンシップB フィールドワークA フィールドワークB	※就任年月平成26年4月に変更

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任予定年月日	担当授業科目の名称	専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任予定年月日	担当授業科目の名称	
兼任	講師	ハラ タカコ 原 貴子 (34)	<平成26年4月>	文学	兼任	講師	ハラ タカコ 原 貴子 (34)	<平成26年4月>	文学	担当者の都合により非開講
兼任	助教	ソウマ サトシ 相馬 聡 (35)	<平成26年4月>	スポーツ科学実技A1 スポーツ科学実技A2 スポーツ科学実技C 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 インターンシップA インターンシップB フィールドワークA フィールドワークB	兼任	助教	ソウマ サトシ 相馬 聡 (35)	<平成26年4月>	スポーツ科学実技A1 スポーツ科学実技A2 スポーツ科学実技C 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 インターンシップA インターンシップB フィールドワークA フィールドワークB	
兼任	講師	ナカヤマ ロクロウ 中山 緑朗口 (66)	<平成26年4月>	日本語A1 日本語A2 日本語表現法1 日本語表現法2	兼任 兼任	講師 教授	ナカヤマ ロクロウ 中山 緑朗口 (66)	<平成26年4月>	日本語A1 日本語A2 日本語表現法1 日本語表現法2	
兼任	講師	アカハネ カオル 赤羽 薫(平成22年4月)	<平成26年4月>	デザイン論	兼任	講師	アカハネ カオル 赤羽 薫 (64)	<平成26年4月>	デザイン論	
兼任	講師	ニシダ ナオキ 西田 直樹 (48)	<平成26年4月>	歴史学 とちぎ学	兼任	講師	ニシダ ナオキ 西田 直樹 (48)	<平成26年4月>	歴史学 とちぎ学	
兼任	講師	オオワ ヨシテル 大輪 好輝 (59)	<平成26年4月>	税法 監査論 会計実務演習	兼任	講師	オオワ ヨシテル 大輪 好輝 (59)	<平成26年4月>	税法 監査論 会計実務演習	
兼任	講師	ニシノ ヒロコ 西野 裕子 (65)	<平成26年4月>	ホスピタリティマネジメント 地域フィールドワーク	兼任	講師	ニシノ ヒロコ 西野 裕子 (65)	<平成26年4月>	ホスピタリティマネジメント 地域フィールドワーク	
兼任	講師	キクチ ヨリコ 菊池 順子 (64)	<平成26年4月>	英語A1(文法・語彙) 英語A2(文法・語彙) 英語A3(英文購読) 英語A4(英文購読) 英語B1(コミュニケーション) 英語B2(コミュニケーション) 英語B3(コミュニケーション) 英語B4(コミュニケーション)	兼任	講師	キクチ ヨリコ 菊池 順子 (64)	<平成26年4月>	英語A1(文法・語彙) 英語A2(文法・語彙) 英語A3(英文購読) 英語A4(英文購読) 英語B1(コミュニケーション) 英語B2(コミュニケーション) 英語B3(コミュニケーション) 英語B4(コミュニケーション)	
兼任	講師	ワタベ フミコ 渡部 文子 (46)	<平成26年4月>	英語A1(文法・語彙) 英語A2(文法・語彙) 英語A3(英文購読) 英語A4(英文購読) 英語B1(コミュニケーション) 英語B2(コミュニケーション) 英語B3(コミュニケーション) 英語B4(コミュニケーション)	兼任	講師	ワタベ フミコ 渡部 文子 (46)	<平成26年4月>	英語A1(文法・語彙) 英語A2(文法・語彙) 英語A3(英文購読) 英語A4(英文購読) 英語B1(コミュニケーション) 英語B2(コミュニケーション) 英語B3(コミュニケーション) 英語B4(コミュニケーション)	英語A1(文法・語彙) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし 英語A2(文法・語彙) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし
兼任	講師	アンザイ カオル 安齋 薫 口 (38)	<平成26年4月>	英語A1(文法・語彙) 英語A2(文法・語彙) 英語A3(英文購読) 英語A4(英文購読)	兼任	講師	アンザイ カオル 安齋 薫 口 (38)	<平成26年4月>	英語A1(文法・語彙) 英語A2(文法・語彙) 英語A3(英文購読) 英語A4(英文購読)	英語A1(文法・語彙) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし 英語A2(文法・語彙) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし
兼任	講師	クイン マシュー Matthew Quinn (33)	<平成26年4月>	英語B1(コミュニケーション) 英語B2(コミュニケーション) 英語B3(コミュニケーション) 英語B4(コミュニケーション) 英語D1 英語D2	兼任 兼任	講師 兼任	クイン マシュー Matthew Quinn (33)	<平成26年4月>	英語B1(コミュニケーション) 英語B2(コミュニケーション) 英語B3(コミュニケーション) 英語B4(コミュニケーション) 英語D1 英語D2	

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任予定年月日	担当授業科目の名称	専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任予定年月日	担当授業科目の名称	
兼任	講師	スギヤマ ハルノブ 杉山 晴信 (56)	<平成26年4月>	英語C1 英語C2	兼任	講師	スギヤマ ハルノブ 杉山 晴信 (56)	<平成26年4月>	英語C1 英語C2	
兼任	講師	カトウ ケンジ 加藤 健司 (62)	<平成26年4月>	日本語A3 日本語A4 日本語表現法1 日本語表現法2	兼任	講師	カトウ ケンジ 加藤 健司 (62)	<平成26年4月>	日本語A3 日本語A4 日本語表現法1 日本語表現法2	
兼任	講師	イイダ ハルミ 飯田 晴巳 (67)	<平成26年4月>	日本語B1 日本語B2 日本語B3 日本語B4 日本語表現法1 日本語表現法2	兼任	講師	イイダ ハルミ 飯田 晴巳 (67)	<平成26年4月>	日本語B1 日本語B2 日本語B3 日本語B4 日本語表現法1 日本語表現法2	
兼任	講師	ミツイ ヒデキ 三井 英紀 (34)	<平成26年4月>	憲法入門	兼任	講師	ミツイ ヒデキ 三井 英紀 (34)	<平成26年4月>	憲法入門	
兼任	講師	オオサワ カズトシ 大澤 和敏 (37)	<平成26年4月>	環境論	兼任 専任	講師 教授 (学長)	オオタ イタル 太田 周 (75)	<平成26年4月>	環境論	担当者の都合により、今年度のみ担当者の変更
兼任	講師	シバヤ カズオ 渋谷 一夫 (60)	<平成26年4月>	科学・技術論	兼任	講師	シバヤ カズオ 渋谷 一夫 (60)	<平成26年4月>	科学・技術論	
兼任	講師	コバヤシ ヒロヒコ 小林 博彦 (76)	<平成26年4月>	ジェンダー論	兼任	講師	後任未定	<平成26年4月>	ジェンダー論	平成26年3月小林博彦講師退職のため、担当者の変更。 平成26年度非開講、今年度中に担当者決定。
兼任	講師	トヨシマ ノリオ 豊島 典雄 (67)	<平成26年4月>	マスコミ論 現代社会の諸問題B	兼任	講師	トヨシマ ノリオ 豊島 典雄 (67)	<平成26年4月>	マスコミ論 現代社会の諸問題B	
兼任	講師	サトウ ジュンイチ 佐藤 淳一 (47)	<平成26年4月>	初級フランス語1 初級フランス語2 中級フランス語1 中級フランス語2	兼任	講師	サトウ ジュンイチ 佐藤 淳一 (47)	<平成26年4月>	初級フランス語1 初級フランス語2 中級フランス語1 中級フランス語2	
兼任	講師	シミズ ヒロコ 清水 浩子 (65)	<平成26年4月>	初級中国語1 初級中国語2	兼任	講師	シミズ ヒロコ 清水 浩子 (65)	<平成26年4月>	初級中国語1 初級中国語2	
兼任	講師	ソン ミヨン 宋 美妍 (50)	<平成26年4月>	初級韓国語1 初級韓国語2 中級韓国語1 中級韓国語2	兼任	講師	ソン ミヨン 宋 美妍 (50)	<平成26年4月>	初級韓国語1 初級韓国語2 中級韓国語1 中級韓国語2	
兼任	講師	オンダ ヨシエ 恩田 佳枝 (41)	<平成26年4月>	税務会計論A 税務会計論B	兼任	講師	オンダ ヨシエ 恩田 佳枝 (41)	<平成26年4月>	税務会計論A 税務会計論B	
兼任	講師	ヨコタ タカシ 横田 隆史 (53)	<平成26年4月>	オペレーティングシステム概論 情報システム設計	兼任	講師	ヨコタ タカシ 横田 隆史 (53)	<平成26年4月>	オペレーティングシステム概論 情報システム設計	

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任予定年月日	担当授業科目の名称	専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任予定年月日	担当授業科目の名称	
兼任	講師	モリダイラ アキヒコ 森平 明彦 (58)	(平成26年4月)	情報社会の法制度	兼任	講師	モリダイラ アキヒコ 森平 明彦 (58)	(平成26年4月)	情報社会の法制度	

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
  - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
  - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には**当該学部等の就任時における満年齢**を、「**変更状況**」には**平成26年5月1日現在の満年齢**を記入してください。
  - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
  - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。  
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度( )書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
11	3	1	1	16	18	0	1	0	19	65	4
( 18 )	( 0 )	( 1 )	( 0 )	( 19 )	[ 7 ]	[ Δ3 ]	[ 0 ]	[ Δ1 ]	[ 3 ]	歳	名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成26年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)
- ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成26年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
  - ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。



(3) 専任教員辞任等の理由      なし

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。  
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（）書きで報告年度を記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 上記（3）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項に対する履行状況等

該当なし

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年△△月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

## 7 その他全般的事項

<経営学部 経営学科>

(1) 設置計画変更事項等 なし

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況, 今後の見通しなど

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。  
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部ESD委員会</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 別紙1のとおり</p> <p>c 委員会の審議事項等 別紙1のとおり</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容 別紙1のとおり</p> <p>b 実施方法 別紙1のとおり</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む） 別紙1のとおり</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 別紙1のとおり</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期 別紙1のとおり</p> <p>b 教員や学生への公開状況, 方法等 別紙1のとおり</p>
---

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

別紙2のとおり

#### ② 自己点検・評価報告書

##### a 公表（予定）時期

・平成26年12月1日 公表予定

##### b 公表方法

・大学ホームページ上に公開

#### ③ 認証評価を受ける計画

- ・平成21年度に評価機関（日本高等教育評価機構）にて評価を受け、認定された。
- ・平成27年度に評価機関（日本高等教育評価機構）にて評価を受ける予定である。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

### (4) 情報公表に関する事項

#### ○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (  有 ) ・ (  無 )

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） ( 26 年 6 月 1 日 )